

# ひきよせ

発行所  
天理教夕張大教会  
〒068-0029  
北海道岩見沢市9条西6丁目  
☎ 0126-22-1248  
FAX 0126-23-7275  
yubaridai146@gmail.com

ホームページ  
bariten.main.jp



LINE 友達登録  
お願いします

## ひとがいる。～家族でおつとめ、ひのきしん、 できることはある！ こども会、今 できることを～



災害や新型コロナ禍で苦しんでおられる皆様にご心からお見舞い申し上げます。医療、福祉でおつとめの皆様に心から感謝申し上げます。私達もたすけあいの社会を目指します。

### 貴方への手紙 (317)

今年はいつもの夏とは違い、暑い中、皆さんがマスクをしています。つらいけど頑張っておられます。大変な時代です。気持ちが弱くなりがちですが過去に大変な時代が無かったかといえどそうではありませんね。

終戦75年。戦争当時の大変さを想像します。

父がよく言いました。泥水すすり、だぞと。満州では父の部隊は、にらみあいのまま終戦を迎え戦闘は無かったと聞きますが、それでも敗戦から部隊の責任者として、武装解除後も、武器を隠しているに違いないとの嫌疑から連行され、銃殺処刑のカウント2まで数えられた後、釈放された。また丸腰の部隊を襲い皆殺しにして物資を略奪しようとする現地の民衆が蜂起する直前、奇跡的に調達できたトラック2台の札束。それで給与を支払うことができ命がたすかったこと。岩見沢の我が家に帰還すると、無事を祈って陰膳をしてくれている姿を見て、気がつい

### お知らせ

## ひきよせ大会9月20日正午より ユーチューブ生放送！

詳細は今号4ページ、別紙チラシやホームページを御覧ください

たことは、自分は単に運が良く生きて残ったのではない。父母や皆さんの祈りのおかげ、ご守護のおかげと感じて父母の信仰を継ぎ教会のご用に立ち働く決心がついたと聞きます。

内心、教会の後を任せようとしていた弟の夏夫さんは人柄が抜群で誰からも愛される人だったと聞きますが、戦地から戻り、農家の手伝いに行き、道ばたの水を飲みチフスにかかり壮絶な最期を遂げました。父の悲しみが文章に残っています。

当時どちらのご家庭でも言葉に尽くせない苦しみがあったことでしょう。それを何度も乗り越えて今があると思います。平和な時代に生きている我々はありがたい。

そう思うと今だけが大変なのではない。乗り越えて行かなければならないと思います。

教祖が教えを説かれた時代、ほうそ(天然痘)、コレラの流行の中、世界をたすける教えを説き、自身の生き方で陽気ぐらしのひながたを示されました。江戸時代から明治維新の時代

へ。教祖は70歳で維新を迎えられ、教えは盛んに伝えられました。世間の無理解、弾圧の中、明治20年の御身おかくれに至るまでたすけ一条の道を伝え続けられました。

世上の大きな変革の時代。人々に新しい生き方を説き続けられました。

それを思うと私たちのできることは何か。おつとめによって毎日人様のたすかりを祈ることだけはさせて頂きたい！そう思います。

今日は8月6日。これをおおびで書いています。去る3日に直された叔母、清真布分教会四代会長新保黎子姉の葬儀をとめています。47歳で乳がんを患い、ご守護いただいで今年で46年長生きされた。満93歳。7月27日憩の家で私と交わした最後の言葉は、

「ありがたいです、ありがたいです」

平成14年叔母と交わした言葉をメモしてあったのでご紹介いたします。その日は善進道の渡部卓

哉君の出直しについて語り、新保さん本人の乳がん以来の心境について語ってくれました。

「生きていくから不足もできない。心配できる。そう思ったら生きていて何も心を痛めるものはない。不足も神様がさせていること。意味を考えて自分を心低く治め、中身こそ高めたい。何があるかどうかというのではない。墓場の下では何もできないのだから。それが今の心境です。ただありがたいと思つてくれば良い。毎朝願う。どうか今日一日、ひとさまのたすかる言葉、取り次ぐ言葉を浮かべてください、おたすけができませんように。三十乃奥様がいつも言っていた言葉、なるよう、いくよう、を思い返し、みかぐらうたを唱え続けた。人は自分の運命によつて苦しんでいる。我が身うらみであるほどに。神様をうらむことはない。明るくなつてもらうことがおたすけだ。ことさらに理を説く必要もない。」  
今もかみしめている言葉です。

### 七月月次祭の様

6月末から7月始めにかけて、北海道は雨の日が続ぎ、さながら蝦夷梅雨ともいうようなスッキリしない天気が続いた。それでも中旬には好天で気温の上がる日も増え、北の短い夏の到来



を感じさせる日も出てきた。先月までに引き続き、コロナ対策の為、祭典前日の会議また各会の例会は中止。集まった人たちは肅々と、祭典準備のひびきしんをしていた。

迎えた祭典日、15日は最高気温26度と、例年並みの気温となり、参拝場には2台の大きな扇風機が準備されていた。定刻通り9時半に開式。開扉献饌のち祭文奏上。その後座りづとめ・十二下りのておどりが務められた。夏本番といった暑さにはもう一步の気温ではあつたが、奉仕者はおつとめ着、ましてマスク着用のまま務めるのは非常に暑く、フウフウと息を切らしながらのおつとめであつた。また熱中症対策に、各自水分補給が出来るよう、水やお茶が用意されていた。

この月、限定的ではあるが、おつとめ奉仕者以外の参拝者も数名が月次祭に参拝し、マスク越しではあつたが、久々の再会に喜びの笑顔が咲いていた。

大教会長は講話で「コロナ禍の情勢の中、なかなか顔を合せてお話しする機会は出来ません。しかし、『ひきよせ』には伝えたい事が載せてあります。特別な事はありませんが、現在の私の率直な心境や、大教会の動きが書いてあります。是非とも読んで下さい。

今年度のひきよせ大会について、少し連絡いたします。当初、我々も開催出来ないと考えていました。しかし、この状況下でなにか出来る事はないかと、探つてみる事にしました。もちろん、従来の形でのひきよせ大会開催は出来ません。そこで、オンライン配信という形での開催を、現在考えています。藤田豊実行委員長を中心に、若い人達が色々と考えてくれています。また私も、皆さんに届くような言葉、話を考えています。いつ

もと違う形になりますが、是非参加して頂きたい。現在北海道では『いま、できること』というキャンペーンが行われています。大教会では3年前から『今できる事がある!』と言ってきました。意味するところは同じですね。しかし、実際に出来る事は少ないです。その中で出来る事の一つは、おつとめです。そして、人を助ける心、優しい心を使う事です。

コロナ禍の情勢において、社会ではテレワーク・在宅ワークの推進で、家族が家にいる時間が増えたそうです。喜ばしい事と思いますが、それだけではなく、四六時中顔を突き合わせる事で互いの粗が見え、喧嘩やすれ違いが増えた家庭も多いようです。家庭でこそ、笑顔や感謝を心掛け、互いに優しい心を使い合う事が家族円満の秘訣でしょう。

常々私は、喜び上手になりましたと思つています。お道の中には、河原町初代・深谷源次郎先生や東中央初代・柏木庫治先生のような、後世に逸話が残る、喜び上手の名人といわれる先生がいます。しかし、お二人とも元々は生来の短気で、喜び上手とは程遠い人であつたとの話も聞いています。その2人が名人と言われるまで喜び上手になつたのは何故か、それはまさしく信仰によつてですね。この道を通る内に、段々と成人し、後世に語り継がれるまでになつたのです。私達もそれを手本に、信仰の歩みを着実に進め、どんな中も喜んで通れるようになっていきたいですね。

7月5日には、兵神大教会の前会長・清水與一先生が出直されました。私も神戸の葬儀に参りました。出棺の時、奥様が遺影を高く掲げて大きな声で『ありがとうございました!』と仰りました。それを聞いて私も感極まつてしまいました。思い出すのはご夫婦揃つて夕張詰所に来て頂いた事です。互いの娘が17歳になり、別席を受ける年になつたお祝いをしよう、と来て頂いたのです。娘同士が笑いながら話す姿を見て喜ばれ、先生も奥様もそれぞれ思うところあつたのか、ポロポロと涙を流されました。私と同世代で道を歩んだ先生です。思い出は尽きません。

今、ままならぬとは思いますが、各教会元氣を出して、この困難の中を陽気にお通り頂きたいと思ひます」と話された。

祭典後にはお下がりが配られ、お下がりに一つずつカップ麺と牛乳が付けられて、皆それを頂いて帰路についた。



## 雨の中の昇殿参拝

### 本部月次祭 殿内での参拝始まる

この7月の本部月次祭より、各直属に割り当てられた人数の教会長が、昇殿して参拝できる事になり、夕張からは幌都・旭都・新生生の会長3名が代表して参拝した。

7月26日、まだ梅雨の雨がシトシト降る中、3か月ぶりの月次祭参拝に神殿に向かう3名。水たまりを避け傘を差していくのに、その足取りは徐々に早くなっていった。

7時半からの受付に合わせ早めに出かけたため、3名は北礼拝場の前から3列目、少し腰を上げるとかんだいづとめの人衆が見られる所に、畳一枚おきに座った。マスクを着けて教服



姿では、湿度も高く蒸し暑い。

扇子でおおぐ風もぬるい。参拝中という事もあり、始終あおいでいる訳にもいかない。殿内のアナウンスで「教服の冠は、熱中症の心配もあり、お取りいだいても結構です」とあったので、姿勢を正す時以外は外していた。

密接しないよう、一間おきに座って、総勢1435名の教会長が参拝していた。南礼拝場は直属教会長と教区長のみ。一般参拝者は雨を避けて、回廊や神殿軒下で接触しないように並んで参拝していた。

真柱様に代わって大亮様が元気なお声で祭文を挙げ、おつとめにかかる。マスクをしたままでの、みかぐらうたの唱和は息苦しい。神殿講話にて松田元雄本部長が「コロナ禍の中だからこそ、教祖の仰せ下さるやさしい心、人をたすける心、くせ性分をとる、という心持ちで通ろう」と話された。

雨天の為、夕張の一行は詰所の車を借りて、車中で教服を着替えるなど、スムーズに動けたが、西礼拝場階下のスノコの上で、汗だくの教服を脱ぐ一行もいた。

重くなった教服を引きずるように詰所へ帰ったが、疲れを癒すように冷えたそうめんが待っ

ていてくれた。

教会長の昇殿参拝は12月まで続き、夕張は毎月7名ずつの割り当てとなっております。

## 修養科の景色

949期一期講師 藤田大和さん (7月〜9月)

気温35度。とにかくマスクが苦しいです(笑)。熱がこもりボートとしてきます。授業も、ひのきしんも、てをどり練習も、皆きっちりマスクと手洗い。笑っているのか怒っているのかさえわかりません(笑)。



講師はなるべく明るく接しようと、身振り手振りが大きくなります。感染予防については新型ウイルスを正しく恐れて、最大限にエチケットを守っています。

国の緊急事態宣言解除に伴い、7月期より募集が再開され、949期生として188名が志願されました。現在は2ヶ月目に入り、修養科生の皆様は、それぞれがおちびを慕う思いを強めていかれているように感じます。ご自分の信仰目標を見つけた方は瞳が輝いています。人間関係の事情

もご自身やご家族の身上も、親神様を信じて乗り越えようと、「人たすけたら我が身たすかる」などのおやさまの教えを学び、実践されています。

私たち講師は修養科生さんの応援団なのだ感じます。じつくり腰を据えてクラスの方々の相談を受ける機会も増えてきました。

この現在の状況下にあつて、信仰生活を停滞させない為、覚悟を決めて修養科を再開された御本部の思いと、今この時しか無いと修養科を志願された方々の心を親神様がお受け取り下さり、お喜び下さっていると思えない奇跡が今、徐々に起き始めています。

## 北海道百五十年史

### 編纂の資料提供

7月3日、北海道150年史編纂のため、道内の宗教の広まり、歴史について、特に戦後の宗教団体の動きを調べているのとこととで北海道庁の和田氏と北海道大学教授櫻井氏が来会され、大教会長と、藤田好道役員が応対した。

まず神殿で参拝。由緒沿革を会長から説明してから食堂を広く使って史料など説明。戦後の天理教の取り組みを伝えた。戦前までのことは100年史で紹介済

みとのこと。

戦中の様子で満洲天理村、炭鉱労働奉仕「いざひのきしん隊」、戦後、戦地からの引き揚げ、戦艦赤城から奇跡的に助かった人、占守島から奇跡の生還をした人がいること等々を伝えた。

終戦後、直ちに始まった二代真柱様の『復元』への歩みに呼応して10年間著しい隆盛をみたことやその間、富ヶ岡学園など社会福祉事業に注力し、それぞれの教会でも復興に全力をあげたことなども伝えた。

特に関心を示されたのは樺太から引き揚げた教会が北海道で多く復興していることだった。樺太時代の50余カ所の教会所在地の一覧表に最大の関心を示された。3時間ほど話し合いが続き、今後更なる史料の発見があれば協力を願いたいとのことだった。



### 訃報

清眞布分教会四代会長  
新保黎子様(享年95歳)



清眞布分教会の4代会長。新保黎子様が、8月3日おぢばで出直された。夕張3代会長の好助先生の4女で、後に役員となる新保幸夫氏

と結婚して2女を授かり、大教会に住まいを建て、昭和49年に乳ガンとなるが、ご用の上に益々励み、昭和60年に事情となつて清眞布分教会の会長を拝命し、信者さんと力を合わせ、体が動けなくなるまで6年余り勤めた。その後におぢばの長女を頼り、先日より憩いの家病院で療養していた。小康を得て白川分院に転院して間もなくの事でした。大病を患つてから46年経つていたそうです。これまでの大教会へのお心寄せを深謝し、慎んでお悔やみ申し上げます。

### 栗山分教会六代会長 就任奉告祭を執行

去る8月9日、栗山分教会にて天理教栗山分教会六代会長就任奉告祭が、大教会長祭主のもと執行され、114名が参拝に集まつた。

新型コロナウイルスの影響が続く中、三密の回避、検温、各所に消毒液を配置するなど、感染症対策を整え当日を迎えたが、この節を活かし、さらなる陽気



ぐらし世界建設を実現するため、おつとめ奉仕者また参拝者一同勇み心に真実を添えて喜びのおつとめをつとめ、これからの道の発展に向かいその思いを一つにした

また、新会長となる富山知一氏は、祭文の中で、富山家信仰初代からの歩みを振り返り、代々受け継がれてきた神一条の



前会長夫妻へ花束贈呈

今年は自宅で参加！ 2020年9月20日

# ひきよせ大会

夕張大教会 Youtube



Youtubeで生放送 パソコン・タブレットやスマートフォンでご参加ください

◆プログラム(12時スタート、13時頃終了予定です!)

・大教会長あいさつ・生放送企画・お楽しみ抽選会・お願いづとめ

今年は新型コロナウイルスの影響により世間、教内でも行事や人の集まりを中止、自粛されております。そこで**3密を避け、オンライン開催**させて頂きます。**夕張につながる教会・信者・教友**を対象として、**今年**はYoutubeを使って生放送します！視聴をもって参加とさせて頂きます。お仕事されている方も、お昼休みに少しの時間、ご視聴(ウキウキウォッチング)をよろしくおねがいします。

お楽しみ抽選会については上記QRコードを読み込むか、インターネットで『天理教夕張大教会』と検索してホームページをご覧ください。『ひきよせ大会特設ページ』がありますので、景品(地域の味覚)紹介動画、抽選会応募(エントリー)方法など掲載しています。手順は、

**大教会LINEに友達登録 → 教会名、氏名、年齢、電話番号を返信する。もしくは…チラシに付いている『手書き抽選応募券』を抽選ボックスに入れる**

これでエントリー完了。エントリーするだけで、美味しい景品が当たるチャンスはみんな一緒です。

■幼児～中学生向けのこども抽選会もあります。名前など必要事項をメッセージで送るか、手書き抽選応募券に書き込んで応募して下さい。

精神をもつて今後の教会長としての勤めを全うする思いを述べ、陽気ぐらしへと向かう決意を誓った。

### 庶務部 7月

▽ 詰所 教養掛

8～9月 梶川創一郎

(新生)

詰所青年終了 8月4日

渡部 修太(清眞布)

▽ をびや 1件

### 大教会目録抄 7月

1日 たすけ推進会議は一階事務所前ホールで行われた



2日 青年会ひのきしん新切り、除草などひきよせ編集

8日 12日 14日 15日 17日 19日 23日 24日 26日 28日 27日

- 【令和2年7月豪雨7月31日】
- 5日 兵神大教会五代会長 清水與一先生お出直し 会長、清水先生葬儀参列へ 会長夫妻、帰会
- 祭典準備
- 月次祭
- 会長、札幌刑務所教誨師 薪整理ひのきしんく20日 会長、おぢばへ
- 会長、本部神殿当番
- 本部月次祭、遥拝
- 会長、かなめ会
- 会長、帰会